



ちょうない いせき すこ
町内にある遺跡のことが少しわかったかな？

こんかいしょうかい いせき
今回紹介した4つの遺跡のほかにも

いせき しら
いろいろな遺跡があるから、調べてみてね。

めざ
目指せ！いせきマスター！！

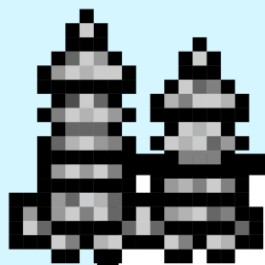


ちゅう い
注意

いせき あしもと あぶ やせいどうぶつ
○遺跡には、足元が危なく、イノシシやサルなどの野生動物に
であ ばしよ きけん ばしよ ぜったい い
出会うような場所があります。危険な場所へは絶対に行かない
ようにしましょう。

こじん とち なか いせき きよか え
○個人の土地の中にある遺跡には、許可を得ないまま、むやみに
はい
入らないでください。

いぶつ み も かせ いぶつ かって も
○遺物を見つけても持って帰らないでください。遺物を勝手に持
て帰ったり、いせき こわ とし ばつ
遺跡を壊した時は罰せられることがあります。



ながよ
いせき
クエスト

～ 長与の遺跡
パンフレット
入門編 ～



ながよいせきクエスト たび きせき 旅の軌跡

プロローグ	ながよクエストスタート	1
レベル	<small>どうざきいせき</small> 堂崎遺跡	2
レベル	<small>てらやしきあごりんとうぐん</small> 寺屋敷跡五輪塔群	4
レベル	<small>なかおじょうあと</small> 中尾城跡	6
レベル	<small>ながよさらやまかまあと</small> 長与皿山窯跡、 <small>ながよさんさいかまあと</small> 長与三彩窯跡	8
エピローグ	<small>ながよちょうみんぶんか</small> 長与町民文化ホールへ	10
	<small>ながよさんさい</small> 長与三彩の <small>しょうかい</small> 紹介	11
	<small>いせき</small> 遺跡マップ・パンフレットの <small>しょうかい</small> 紹介	12
	<small>ながよ</small> 長与 <small>ちず</small> ドット地図	13



ながよ ちず
▶ 長与ドット地図

※ドットなのでおおまかな
ちず地図だよ。

▶ 堂崎遺跡

▶ 寺屋敷跡
五輪塔群

▶ 長与皿山窯跡
長与三彩窯跡

▶ 中尾城跡

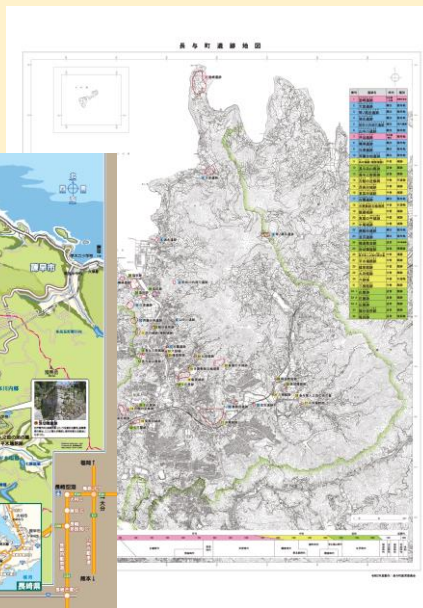
いせき しょうかい
▶ 遺跡マップ・パンフレットの紹介

ながよちょうやくば かい しょうがいがくしゅうか
長与町役場2階にある生涯学習課で、このパンフレットのほかに
「ながよ遺跡マップ」「長与遺跡録～長与の遺跡パンフレット～」
はいふ
を配布しているよ。

たくさんの遺跡の場所が分かるから、興味がある人は見てみてね。

ながよちょう けいさい
長与町ホームページにも掲載されているよ。

いせき
▶ ながよ遺跡マップ



おもて
▶ 表にはイラスト
ちず いちぶ
ト地図と一部
いせき かいせつ
の遺跡の解説
があつて、うら
には遺跡地図
いせき いちらん
と遺跡の一覧
があるよ。

ながよいせきろく ながよ いせき
▶ 長与遺跡録 ～長与の遺跡パンフレット～



ながよちょうない いせき
▶ 長与町内の遺跡を
しょうかい
紹介しているパンフ
レットだよ。
こんかいしょうかい
今回紹介している
いせき いろいろ
遺跡のほかに色々な
いせき
遺跡があるからぜひ
み
見てみてね。



ながよ いせき クエスト



▶ START
CONTINUE

プロローグ

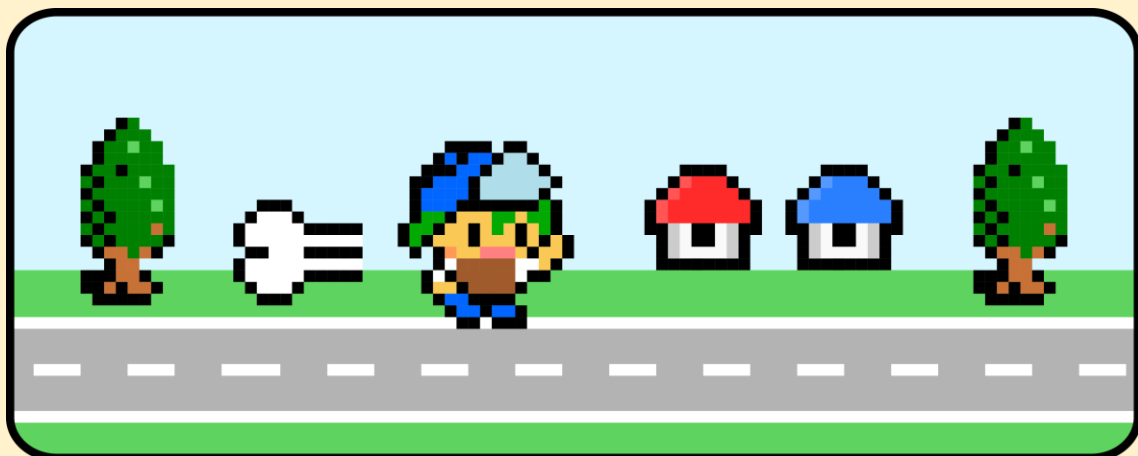
ながよちょう
長与町のイメージキャラクターであるナガヨミクンは、

ながよちょうない いろいろ いせき
長与町内に色々な遺跡があることを知る。

いせき
遺跡について知らなかったミクンは、

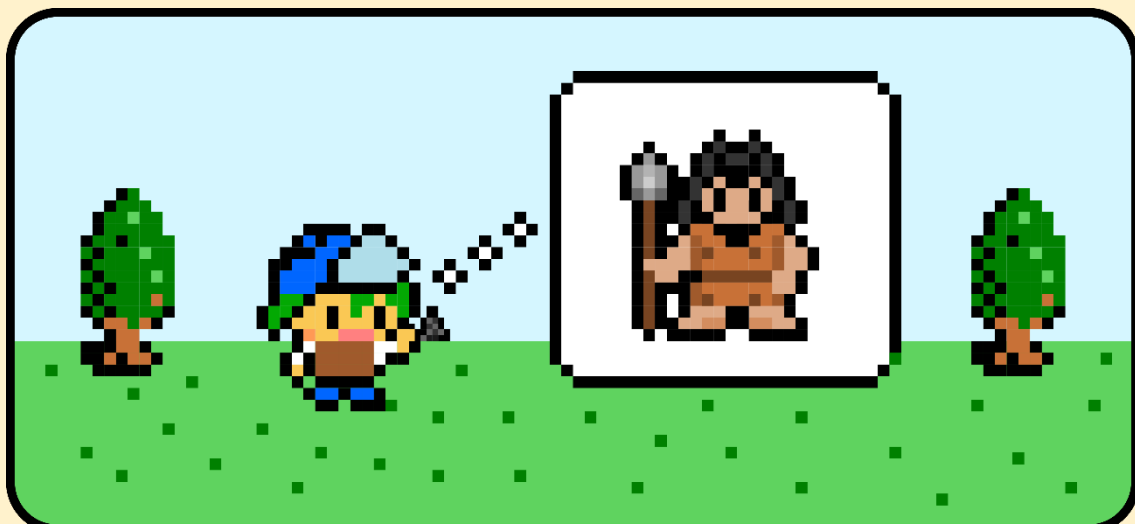
じぶん す
自分が住んでいる長与町のことをもっと知るために

ながよ だいひょう
長与を代表する4つの遺跡めぐりの旅に出るのであった…



LEVEL 1

どうざきいせき 堂崎遺跡



ミツクンは堂崎遺跡にたどり着いた
黒曜石を見てはるか昔に思いをはせた

堂崎バス停から北に行ったところ、堂崎ノ鼻の辺りが堂崎遺跡だよ。

昭和43(1968)年に多くの遺物が発見されたのをきっかけにして、次の年から発掘調査が行われたんだ。ナイフ形石器や台形様石器、彫器、細石刃などの旧石器のほか、石鏃(石の矢じり)、スクレーパー、石斧、石匙、弥生土器、須恵器などが採集されていて、旧石器時代から古墳時代と長く続いた遺跡であることがわかったんだよ。

ながよさんさい しょうかい
▶ 長与三彩の紹介



ながよさんさいつつがたはないけ
▶ 長与三彩筒型花生



ながよさんさいちゃつぽ
▶ 長与三彩茶壺

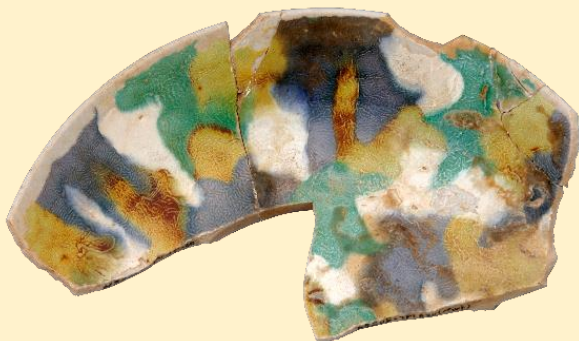


ながよさんさいりょうろ
▶ 長与三彩涼炉



ながよさんさいこうろ
▶ 長与三彩香炉

ながよちょうみんぶんか かいてんじ ちょう しょうゆう ながよさんさい てんじ
長与町民文化ホールの2階展示ホールに、町が所有する長与三彩が展示
されているよ。ながよさんさい げんぞんすう すく きちょう へいせい
長与三彩は現存数が少なくかなり貴重なものなんだよ。平成
17(2006)年(ねん)の発掘調査(はつくつちようさ)で出土(しゅつど)したながよさんさい ひらざらはへん てんじ
長与三彩の平皿破片も展示されているから、ぜひ見(み)に来(き)てね。

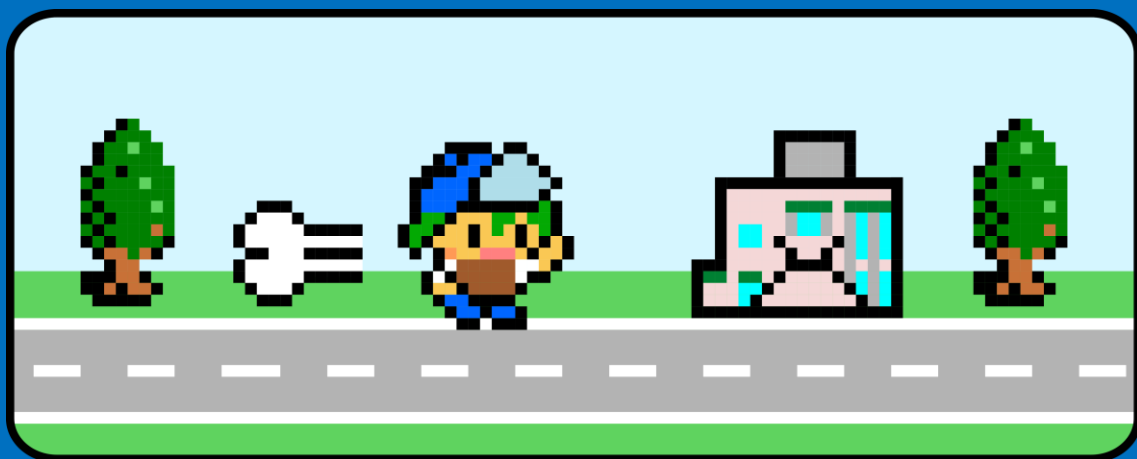


ながよさんさいひらざらはへん
▶ 長与三彩平皿破片



ながよさんさいひらざらはへん
▶ 長与三彩平皿破片を
けんしゅつ ようす
検出している様子

エピソード



ミックンは、最後に^{さいご}長与町^{ながよちょう}民文化ホール^{みんぶんか}にたどり着^つく。

ここに^{ながよさんさい}長与三彩^{てんじ}が展示^きされていると聞いたのだ。



▶ アクセス

JR 長与駅から徒歩15分ほどの場所にあります。
駐車場あり。

※文化ホールでイベントが行われる時には駐車場が込み合いますので、ご注意ください。

▶ ミックンメモ

▼ 町内最古で最大の、旧石器時代から縄文、弥生、古墳時代と長く続いた遺跡だよ。

▼ 旧石器時代の頃には、大村湾には海水はなく大きな盆地だったんだ。堂崎はその盆地を見下ろせる台地で、水も湧き出る格好の狩猟場所だったみたいだね。

○ 旧石器時代

多くの石器が出土していて、おおまかに堂崎Ⅰ（約3万年～2万年前ごろ）と堂崎Ⅱ（約1万8千年前～1万5千年前ごろ）の2つの時期に分けられるよ。

◆ 出土した石器
〔堂崎Ⅰ〕 台形様石器、ナイフ形石器など
〔堂崎Ⅱ〕 細石刃、細石核など

○ 縄文時代

細かな時期は特定できないけど、多くの石器が出土しているよ。石鏃（石の矢じり）が最も多くて、縄文時代の終わりごろにみられる打製石斧や、同時期の土器も多く見られるよ。

○ 弥生時代・古墳時代

数は少ないけど弥生土器、須恵器の破片が出土しているよ。

▶ 出土した遺物



▶ アクセス

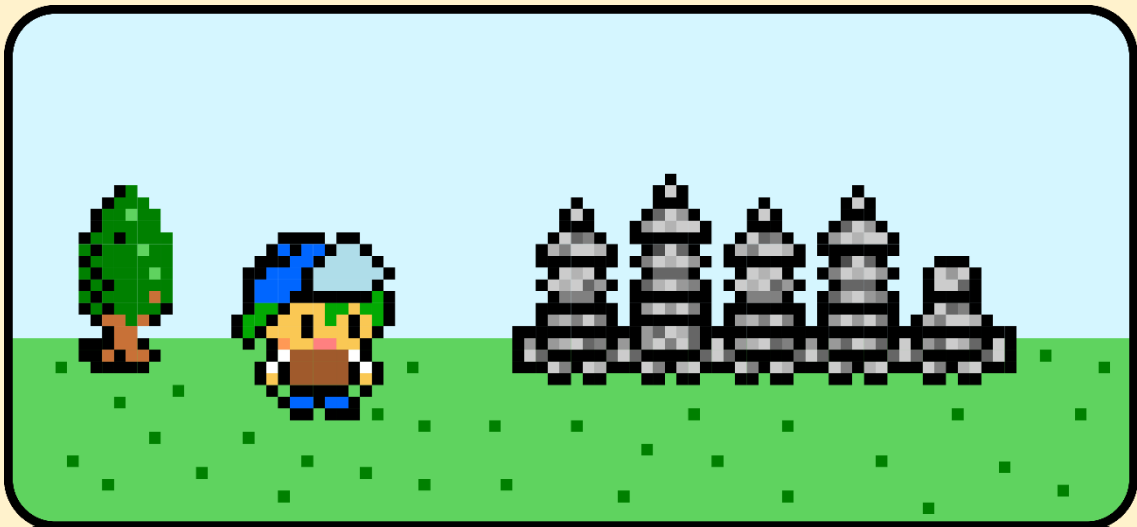
国道207号沿いにある堂崎バス停から北側堂崎ノ鼻周辺の場所になります。遺物が包蔵・散布された場所になっており、目に見える遺跡はありません。保育園横に駐車場あり。

▶ 施設

説明板あり。

LEVEL 2

てらやしきあとごりんとうぐん 寺屋敷跡五輪塔群



てらやしきあとごりんとうぐん
ミックンは寺屋敷跡五輪塔群を見つけた
いし ふる れきし かん
石の古さが歴史を感じさせた

ながよちゅうがっこう きた お い ちか
長与中学校から北に降りて行ったところの近くにあるよ。
いま まわ たくち かこ ばしよ いちぶ せいび
今は、周りが宅地に囲まれた場所であって、一部が整備さ
だいしやう き ごりんとう なら
れて大小6基の五輪塔が並べられているよ。
ほ じ ふうか おお
彫ってある字が風化してははっきりしていないけど、『大
むらごうそんき しりやう めいとく てんぶん ねんごう ほ
村郷村記』という資料には明徳や天文の年号が彫ってあると
か 書いてあって、むらまちじだい つく かんが
書いてあって、室町時代に作られたものと考えられているよ。
とうじ りやうしゅ ながよし かんけい
そして、これらは当時の領主、長与氏に関係があるものとい
われているんだ。
しやうわ ねん ながさきけんしていぶんかざい しせき
昭和46(1971)年に長崎県指定文化財(史跡)になってい
るよ。

▶ ミックンメモ

ながよちょううれりごう た お ぜんちょうやく
▼長与町嬉里郷田尾に、全長約11

めーとる きょだい のぼ がまあと ながよ
5 m の巨大な登り窯跡（長与

さらやまかまあと のこ
皿山窯跡）が残っているよ。

ながよ や もの かんぶん
▼長与の焼き物は寛文7(1667)

ねん はじ や もの つく
年に始まって、焼き物を作るのを

や じ き
止めていた時期もあったけど、

えどじだい だい き だい き きかん つく
江戸時代に第1期から第3期の3つの期間で作られていたことが

わ
分かっているよ。

ながよやき ふだんづか じ き ながさき ちゅうしん ぜんこく しゅつか
▼長与焼は普段使いの磁器で、長崎を中心に全国に出荷されていた

よ。「くらわんか碗」（大阪の淀川でお酒や食べ物を売っていた小舟

がつか がつわ りょう かわぞこ ながよやき はっけん
が使っていた器）としても利用されていて、川底から長与焼が発見

されているよ。遠くまで出荷されていたんだね！

おおむらごうそんき なか いちじろう じんぶつ めずら や もの や
▼『大村郷村記』の中に、「市次郎という人物が、珍しい焼き物を焼

いた」と書いてあって、これが長与三彩のことだと考えられている

よ。ただ、ながよさんさい かず すく つく ねんだい せいほう わ
長与三彩は数が少なく、作られた年代やその製法が分か

っていないことなどから、まぼろし ながよさんさい よ
幻の長与三彩と呼ばれているよ。長与

さんさい じ き さんさい いろあざ はっしょく ひょうか たか
三彩は磁器の三彩で、色鮮やかな発色で評価が高いんだよ。



ながよさらやまかまあと
長与皿山窯跡



▶ アクセス

国道207号沿いにある寺の下バス停から南、徒歩4分の場所にあります。

駐車場はありません。

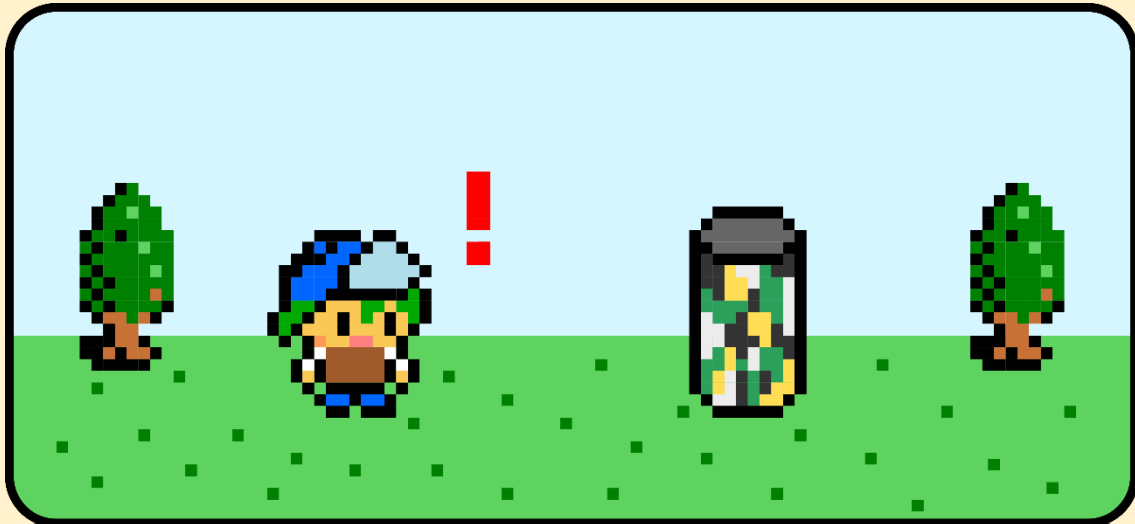
※長与三彩窯跡は立入禁止。

▶ 施設

説明板あり。

LEVEL 4

ながよさらやまかまあと ながよさんさいかまあと
長与皿山窯跡、長与三彩窯跡



せい き だいはっけん
世紀の大発見？

まぼろし ながよさんさい み
ミクンは 幻 の長与三彩を見つけた！

ながよさらやまかまあと え じ だい ながよ やき や もの たいりょう
長与皿山窯跡は、江戸時代に長与焼という焼き物を、大量
せいさん かま あと かま だんだんばたけ
生産していた窯の跡だよ。この窯は段々畑のようになっている
のぼ がま ぜんちょう やく めーとる や もの や しょうせいしつ
る登り窯で、全長が約115m、焼き物を焼いた焼成室の
かず しつ すいそく だい き ぼ
数がおよそ25室もあると推測される大規模なものなんだ。

ながよさんさいかまあと まぼろし や もの い ながよさんさい や
長与三彩窯跡は、幻の焼き物と言われる長与三彩が焼か
かまあと かんが ばしよ へい
れていた窯跡があったのではと考えられている場所だよ。平
せい ねん がつ はくつちようさ ながよさんさい
成17(2006)年3月に行った発掘調査では、長与三彩の
しっぱいひん しゅつど しっぱいひん
失敗品が出土したんだ。失敗品というところがポイントで、
しっぱい しなもの せいさんち で ながよ
失敗した品物は、生産地でしか出てこないものだから、長与
さんさい ながよ つく かのうせい たか
三彩はここ長与で作られた可能性が高まったんだよ。

▶ ミックンメモ

▼^{ごりんとう}五輪塔は、^な亡^{ひと}くなった人の^{くよう}供養のためやお墓^{はか}として^{つか}使われていて、「^ち地^{すい}・^か水^{ふう}・^{くう}火^{くう}・^{あらか}風^{あらか}・^{あらか}空」を表^{かたち}す^{ちが}形^{いし}が^{つく}違う5つの石で作られているよ。

▼^{だいしょう}大小6基^{ごりんとう}の五輪塔^{ごりん}(五輪がそろ

っていないものもあるよ)が並べられているよ。

※^{さんらん}散乱している^{ちりん}地輪から30基^きを超す^{ごりんとう}五輪塔があつたんじゃないかと^{すいそく}推測されているよ。

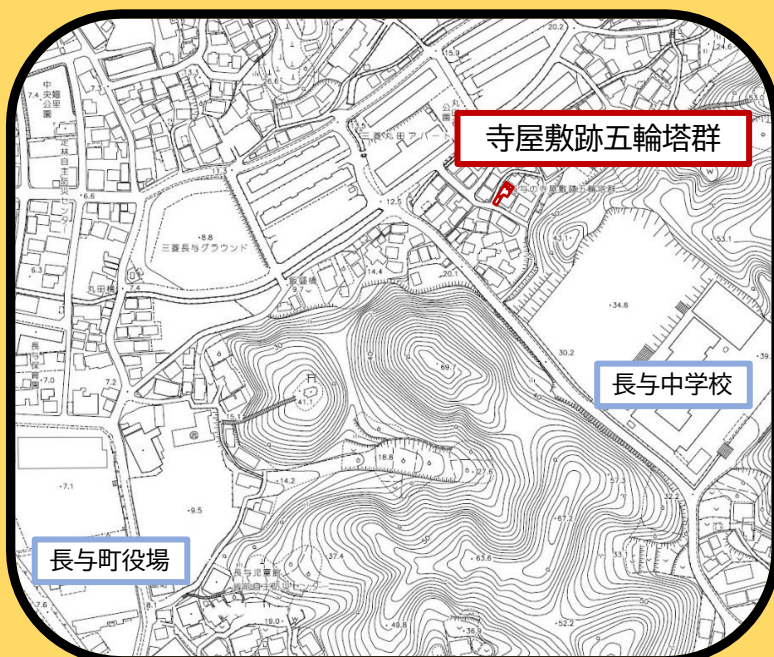
▼^{ごりんとう}五輪塔には、^{めいとく}明徳・^{えいきょう}永亨・^{ほうとく}宝徳・^{かんしょう}寛正・^{めいおう}明応・^{てんぶん}天文の年号が^{きざ}刻ま^{むろまちじだい}れていて、^{こんりゅう}室町時代に^{こんりゅう}建立されたものとみられているよ。

▼「^{めいとくにねん}明徳二年」(1391年)と^{ねん}刻まれている^{せきとう}石塔の^{もじ}文字は、^{げんざいかくにん}現在^{げんざいかくにん}確認されている中で^{なか}長^{ながよ}与に^{のこ}残る^{さいこ}最古の^{もじ}文字だよ。

▼^{せきとう}まとめて^よ石塔があつて、^と読み取れる^{じき}時期が^{やく}約1^{せいきはん}世紀半(150年)の^{ねん}長い^{なが}期間に^{きかん}わたるから、この^{ちいき}地域を^{とうじ}治めていた^{りょうしゅ}当時の^{ながよし}領主^{かんけい}長与氏に^{かんけい}関係のあるものじゃないかとみられているよ。



てらやしきあとごりんとうぐん
寺屋敷跡五輪塔群



▶ アクセス

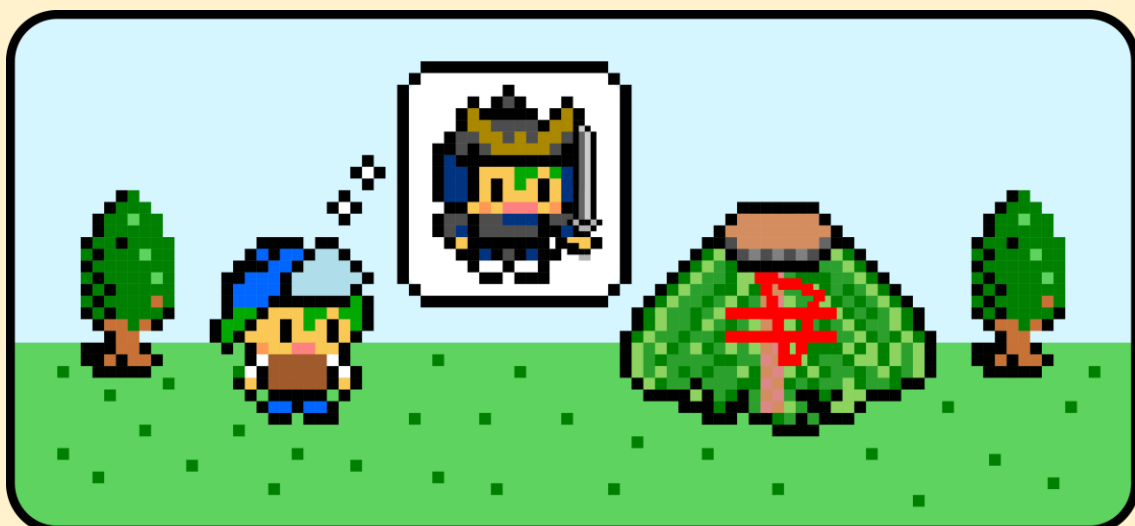
長与町役場から北東方面へ徒歩5分、長与中学校から北西方面へ坂を下った近く徒歩5分ほどの場所にあります。駐車場はありません。

▶ 施設

説明板あり。

LEVEL 3

なかおじょうあと 中尾城跡



なかおじょうあと つ
ミックンは中尾城跡にたどり着いた
がしやう じぶん おも う
武将になった自分を思い浮かべた

だいきぼ がんじやう こうぞう どるい まも つよ しろ
大規模で頑丈な構造の土塁があるなど守りが強い城だっ
たんだよ。

じやうない せいかつ あと ながよいったい
でも城内で生活した跡は見られないんだよね。長与一帯で
まんいち ばあい そうてい ひじやうじ そな
万一のことがあった場合を想定して、非常時に備えることを
もくてき まえ た しろ み
目的に前もって建てられた城じゃないかで見られているよ。
じっさい ひじやうじたい お
実際に非常事態は起こらなかったみたいだけどね。

いま どるい のこ
今でも、土塁などが残っているよ。

▶ ミックンメモ

▼ なか おじょうこうえんない ひょうこう めーとる 中尾城公園内の標高90 m

たかだい じょういき とう ほどの高台にあって、城域は東
ざいやく めーとる なんぼくやく めーとる 西約150 m、南北約50 m
どるい のこ ほどで土塁などが残っているよ。

▼ 『おおむらごうそんき 大村郷村記』によるとてんぶん 天文のこ

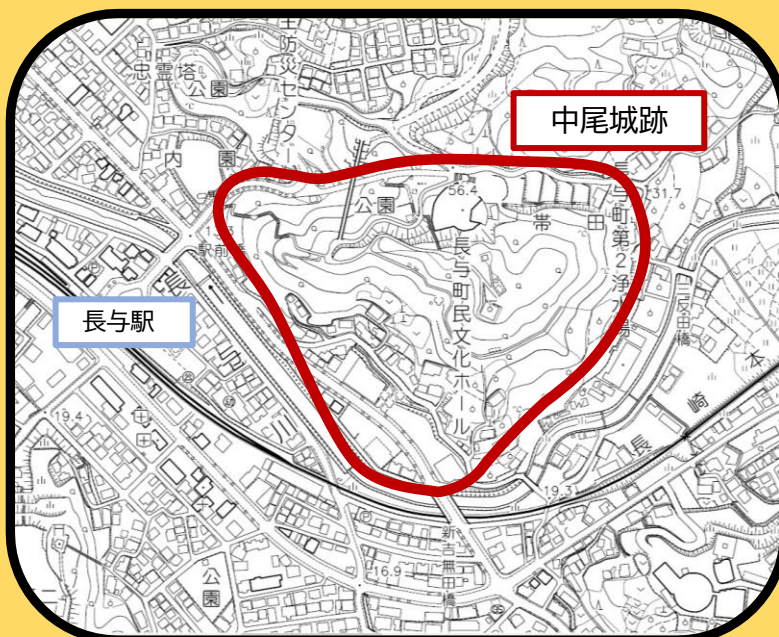
ながよごんのすけ きず ろ(1532年~1555年)に長与権之助が築いたとされて
いるよ。

▼ なか おじょう どるい ていめん はば めーとる たか めーとる なが 中尾城の土塁は、底面の幅が4 m ほど、高さ2 m ほど、長さ
めーとるいじょう おお つち そう ていねい し が50 m 以上もある大きなもので、土の層が丁寧にたたき締め
かた つく られていて、とても堅い造りになっているよ。

▼ ちゅうせい ながよ かんが うえ じゅうよう ぶんかざい 中世の長与を考ねん える上で重要な文化財とされていて、平成1
0 (1998) 年ながよちょうしていぶんかざい しせき に長与町指定文化財(史跡)になったよ。



なか おじょうあと しゃしん どるいあと
中尾城跡(写真は土塁跡)



▶ アクセス

JR 長与駅から徒歩15分ほどの
場所にあります。
中尾城公園の駐車場がご利用い
ただけます。

▶ 施設

説明板あり。
遺跡の範囲は左記の赤線部で
すが、実際に土塁等がご覧いた
だけるのは、中尾城公園頂上付
近になります。